

## 医師 加藤倫子先生 子供向け講演会のご案内 ---「移植って何?」「脳死って何?」---

新年、あけましておめでとうございます。うさぎ年の今年、皆様には飛躍の年となることをお祈りします。

さて、学園ではこの度、土曜日放課後の時間を利用して講演会を企画しました。学園内外を問わず、ご興味のある方はどなたでも参加できます。事前の予約は必要ありません。「命」について考えてみませんか。多くの方のご参加をお待ちしています。

日時：2011年1月15日(土)午後3時10分から4時まで

場所：ニューヨーク育英学園小学部1年生教室(Englewood Cliffs, NJ)

参加費：無料(児童・生徒のみ、保護者のみの参加も可能です。)

\* 幼児部園児のみの参加はできません。幼児部園児の場合は保護者同伴でお願いします。

幼児同伴の場合は保護者の方でお子さんのケアをお願いいたします。

駐車場所：学園内に保護者の方のための駐車場が確保できません。

9 W/Sylvan Ave 路上などをご利用下さい。

全日制小学部で行った際に参加された方には内容はほぼ同じになります。

お知り合いでご興味のある方がありましたらお知らせください。

### 加藤先生のご紹介

加藤先生は、日本国内で行われた心臓移植の半数に携わってこられ、現在、アメリカでも NY プレシビテリアン・ホスピタル/心臓内科・臓器移植のチームにて心臓移植医療の研究に従事している医師です。これまでも、夜中に四人乗り飛行機で脳死の方のところへ臓器を取りに行かれたり、移植待機の状態での病院から出ることの叶わない患者さんを診療されたり、時には、日本から人工心臓をつけた患者さんを飛行機に乗せて一緒にアメリカへ付き添って来られたり・・・等々、素晴らしいご活躍をされていると聞いております。加藤先生ご自身も、そんな医療の現場にありながら、あまりにも移植に関する情報が一般の人へ届いていないことを感じていらっしゃるのと同時に、これまでの講演会などを通じて「知ってもらうことが第一で、それにどう向かい合うかは、知って初めて考えることができる。」という思いを強く持っていらっしゃるということです。

昨年11月、本学園全日制小学部の授業として講演会を実施し、大変分かりやすいと好評でした。子供達にも分かりやすいようにと、このために自作のイラストなどを作ってくださいました。子供達が分かりやすかったことはもちろん、大人にとってもまさしく目からウロコのお話でした。まさしく、「知る」ことから始まると実感しました。内容的には難しいところもあるかもしれませんが、日々のニュースの中で、これから歩いていく生活の中で、きっと糧となるはずで。学園は臓器移植推進団体ではありませんが、まずは「知る」ことが大事と考え、今回の企画を致しました。皆様のご理解を頂けますようお願い申し上げます。

医師：加藤倫子(かとう ともこ)

- ・国立循環器病研究センター 心臓内科臓器移植部医長
- ・NY-Presbyterian Hospital, Center For Advanced Cardiac Care
- ・加藤先生の紹介：<http://www.ishokushien.com/> の専門家の意見 参照

講演会へのご質問は学園事務局(201)947-4832 まで。